



人権平和資料館だより

2012. 5

HUMAN RIGHTS & PEACE 第 205 号

人権と平和は
21 世紀のキーワード

〒720-0061 福山市丸之内 1-1-1

TEL 924-6789 FAX 924-6850

jinken-heiwa-shiryokan@city.fukuyama.hiroshima.jp

●————— 広河隆一写真展 —————●

チェルノブイリ と核の大地

…2012 年 5 月 25 日(金)～6 月 24 日(日)…



人が住めなくなり、廃墟となった民家。家全体をツタがおおう。

1986 年（昭和 61 年）4 月 26 日、ソビエト連邦（現：ウクライナ共和国）のチェルノブイリ原子力発電所第 4 号炉で爆発事故（炉心溶融・メルトダウンと火災）が起きました。

当初、ソ連政府はパニックや機密漏えいを恐れ、この事故をすぐには公表しませんでした。そして施設周辺の住民に対しても避難措置をとらなかったため、多くの住民は事実を知らないまま数日間、通常的生活を送り、そのため高濃度の放射能を浴びて被曝しました。

高濃度の放射性物質に汚染されたチェルノブイリ原発周辺の 30 キロ 圏内は、住民の居住が不可能になりました。住民の避難は 4 月 27 日から始まり、1 ヶ月の間に 約 16 万人が移住したとされています。しかし、生まれた土地を離れるのを望まない高齢者など、一部の住民は、移住せずそのまま生活が続いていると言われています。

フォトジャーナリスト広河隆一が、チェルノブイリ原発周辺の被災地で撮影を始めたのは 1989 年 3 月のことです。当時、まだ西側のジャーナリストは、チェルノブイリ周辺地域に、自由に立ち入ることが禁止されていた時期です。

それ以降、2009 年の春まで 52 回の取材を行い、貴重な写真を撮られています。「チェルノブイリ事故の被害がどれほどのものだったのか、事故によって何が失われたのか、まだ誰にも分かっていません。」と述べています。この写真展で原発事故の一端を知っていたら、原発について考えるきっかけにいただければ幸いです。

「チェルノブイリと核の大地」

～ 展示パネルは、撮影時期によって、次のような構成になっています ～

1. 「明らかになり始めた被害」(1989年～1991年に撮影)

広河さんは、原発から60キロ離れたところで、動物の出産異常が報道されたことをきっかけに、1989年3月に初めて現地に入りました。その時のことを、次のように書いています。

「私が持参した放射線検知器（当時は外国人が持ち込むことは禁止されていた）は、原発近くで検査したときと、同じ値を示しました。村人たちは、私の検査の結果を知りたがりました。泣き叫ぶようにして車を取り囲んだ村人たちに、私は検査結果を渡しました。そしてこの値が、原発近くのブリピャチ市の道路上で計った値と、同じだということも付け加えました。私は村人が、ここからすみやかに避難できることを願いました」。

放射能汚染の実態が、動物や植物などの異常から徐々に明らかになり、食べ物や人体にまで影響を及ぼし始めた頃の写真が、20枚のパネルに編集されています。



村民は、公式には全員避難したことになっているが、封鎖された村にはまだ人が住んでいた。

「孫に食べさせてやりたいのだが、放射能は大丈夫だろうか」と、ジャガイモを差し出した。

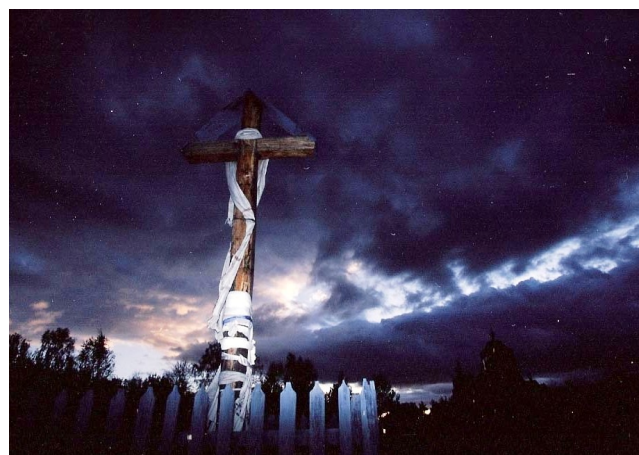
(ベラルーシ・1990年)

2. 「悲劇の拡大」(1993年～1997年に撮影)

食べ物が汚染され、知らずにそれを食べると、放射能が体内に蓄積していきます。その影響は、真っ先に子どもたちに、血液や甲状腺の異常として現れます。治療のおくれから、亡くなる子どもも少なくありません。

「死の直前、ターニャは、『私の順番がまわってきたわ』と言って息を引き取った。母親は、『神様は、どうしてこんなに早く連れて行ってしまったの』と言って、棺の前で泣き崩れた。」(写真キャプション)

病気で苦しむ母と子の姿が「悲劇の拡大」として、20枚のパネルに編集されています。



原発から北60キロのホイニキ市の教会。この地区の半数の村は、強制避難の対象になった。残った人々の検査は毎年行われているが、健康な子どもは、ほとんどいないという。

子どもの髪や尿からは、プルトニウムが検出されている。

(ベラルーシ・1995年)

3. 「消えた村」(1997年～1998年に撮影)

人々は故郷を失いました。村や森や自然を失いました。廃墟となった町や村の廃屋さえ、放射能の拡散を防ぐために取り壊され、地中深く埋められて、ただ草だけが生い茂っています。そこには、かつて人々の生活があり、楽しい家族の団らんがあったはずです。

「消えた村」は、刊行されている『写真記録 チェルノブイリ 消えた458の村』から、わずか10点だけを選んで、パネルに編集されています。